

校學範師縣馬群
書藏校學小屬附
冊全冊二
號理 26
函 3
架 8

家庭學校
理科讀本

海上之部
前編

後藤牧太校閱
三宅たつ子校閱
川田鐵彌編纂

海上之部
前編

學校家庭理科讀本

東京 同文館藏版

例言

一本書は、陸海二部より成り、何れも、前後二篇に分ち、前篇は、學校又は家庭にて、幼稚園及び尋常小學科の兒童に、理科示教圖を用ひて、普通の事柄を教へ、後篇は、高等小學科第一、二學年生に、専ら理科の智識を授ける目的で、編纂してあります。

二 理科示教圖、陸上の部には、ステーションを中心として、植物(樹、油菜、蒲公英、革葉、綿花、桔梗、菊、椿、薔薇、蓮、松、稻、麥、菌、茄子、胡瓜、南瓜等)、動物(蛇、蜘蛛、イナゴ、雀、鶴、鷺、猿等)と各種の事物(國旗、電話、瓦斯、時計、寒暖計、滑車、富士山等)、植物(昆布、ワカツ、珊瑚、貝類、カレヒ、蝦、魚、イカ、鰐、鯛、鰐等)、動物(オットセイ、カレヒ、鯨、鳥、燕、犬、牛、馬等)、とを載せてあります。けれども、僅か海、陸の水雷艇、蒸氣機關、風船、水道、寫眞器、自轉車等、とを載せてあります。二圖に、諸種の事物を掲載いたしましたから、精細な事項は、標本や實地採集などで、補はねばなりません。

三 本書は、理科讀本と名づけましたけれども、其の實、平易な理科の材料に基いて、問答の中に修身、國語、算術、地理、遊戲、唱歌等の諸科目に、連絡を保たせ、そのうへ、章毎に備考を加へてあります。隨て諸科目を教授せられる場合に、いくらか参考になるだらうと存じます。

四 本書の前篇は、對話式を用ゐ、後篇は、講話式を用ひて、平易に書き表はしてありますのは、中央の標準語を普及させたい考へであります。

五 本書の後篇に示しました備考は、其の章を受けた後で、大要を綴らせて、總括の實力を養ふのと共に、繕り方の練習をさせる目的で、添へたのであります。

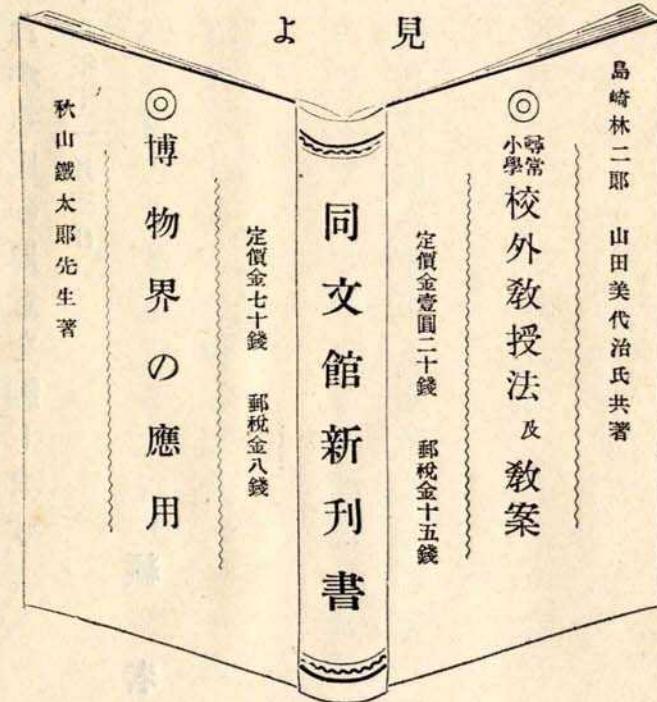
六 本書は、之れを學校で使ふと、家庭で用ひるとによつて、言葉遣ひなどは、自から取捨變更せねばならんところがあります。

七 本書を編纂する上に於て、特に陸軍教授東宮鐵麻呂氏に、教示をうけましたから、氏の厚意を謝します。

明治三十六年十一月三日

編 者 識 す

第一 章	繪圖のお話	一 頁
第二 章	港のお話	九
第三 章	海草のお話	十七
第四 章	貝のお話	二十七
第五 章	珊瑚のお話	三十七
第六 章	魚のお話	四十六
第七 章	牛馬のお話	五十八
第八 章	海獸のお話	六十八
第九 章	石炭のお話	八十



第十章 ポートのお話

九十

目次 終

家庭學校 理科讀本 前海の編部



此の篇は、理科示教圖海の部を使用して、幼稚園又は尋常小學科の兒童に、學校や家庭で、普通の智識を授けしむる目的で編纂しました。而して、理科學に關した材料を基とし、修身その他の諸科目に連絡を保たせてあります。又對話式を用ひて、平易に書き表はしてあるのは、問答の中に、自から中央の標準語を練習せしめたい考へてござります。

第一章 繪圖のお話

要旨 児童の舊知識に訴へて、事物を確實に知らしめる目的であります。

話繪圖ノ才

要旨

これは、どうした繪圖でせう。

港の繪であります。

だから、船が澤山にゐますねー。このやうな船は、

何と申しますか。

帆前船と申します。

この棧橋に着いてゐるのも御存じですか。

あれは、蒸氣船であります。

斯様に堅固な汽船があるによつて、遠い外國から、色々の品物をとりよせることが出来ます。どこかに、軍艦も書いてありますか。

軍艦

蒸氣船
用漁船ノ効

帆前船

港 船

浚渫船

海戦

浚渫船の先の方に、小さく見えてゐる白いのが、軍艦であります。

この海水の打あがつてゐる處は、どうした處を書いたものでせう。

海戦の繪であります。だから、向うで軍艦が焼

けてゐます。

斯様に、軍艦の波を蹴立てゝ進んでゐるのは、勇ましいではあります。あなたは、船に乗ることがお好きですか。

ボートや網船に乗ることは、大好きです。

ボート

數ニ關
ル觀念

それは、大變結構であります。日本は、東も西も南も北も、四方が海で取り囲まれてゐる國ですか
ら、遠方に行くには、必ず、船に乘らねばなりません。
だから、船がお嫌ひなお方は、大きくなつても、
旅をすることも出来ません。

船が嫌いな人は、海軍大將にもなれないでせ
う。

さうねー。あなたはどういつて船を數へますか。
一艘二艘三艘といつて數へます。

この繪に、ボートは幾艘書いてありますか。

鯨

鳥

蒸氣機關

三艘です。一艘は、鯨の鹽を吹き出してある向
側に書いてあります。

沖の方から、澤山飛んで来てゐる鳥は、何でせう。
力モメであります。

この蒸氣機關の右側に、何と何とが書いてあり
ますか、考へつこしませう。

エビだの、鯛だの、珊瑚だの、海にあるものが書
いてあります。

色々な海草も書いてありますねー。これは何で
せう。

鯛
珊瑚
海草

ナツトセイであります。

この繪には、お魚賣りが、鉢巻をして急いで行く處もあれば、水道の水を使つてゐる處も書いてあるでせう。支那人は、何處を通つてゐますか。馬車の後の方を、子供を連れて通つてゐます。犬や牛や馬もありますが、この馬車の先きで、腰を屈めてゐる人は、何をして居る所でせう。

寫眞を撮つてゐるのであります。

こちらでは、人が望遠鏡で、沖を眺めてゐます。この自轉車に乗つてゐる人の側にあるお家の屋根

寫眞器

望遠鏡

自轉車

馬車

犬牛馬

水道

にあるのは何でせう。
風見の道具でせう。

このお家は、屹度氣象臺でせうねー。向うの煉瓦造のお家は、どうするお家でせう。

風船

氣象臺

税關

國旗

存じません。彼處に風船が書いてあります。
煉瓦のお家を御覽なさい。屋根の正面に、菊の御紋が着いてゐるでせう。このお家は、税關と申して、外國へ行つたり、外國から來たりする人の、荷などを調べるお役所であります。
だから、日の丸の旗が立つてゐますのねー。

向うの軍艦にも、國旗が立つてゐますねー。これから、大きい聲で、日の丸の唱歌を歌ひませう。

- 一、年のはじめを家々で、かゝげていはふはなーにぞ、おまつりの日やいはひ日に、いつでもたてるはなーにぞ、あさひをうつした日の丸よ、あさひをうつした日の丸よ、あさひをうつした日の丸は、あさひをかざす日本の、あさひをかざす日本の、あさひはせかいをてらすなり、あさひはせかいをてらすなり、

○「海のうへ」の唱歌

歌曲は幼稚園唱
歌にあります

はしるは汽船か軍艦か、とまるは漁師のつり船か、
黒い烟や白い帆や、汽笛の音や艤の音や、
あゝ面白い海のうへ。

第二章

港のお話

要旨 港に託して、地理上の智識を授ける傍公徳を養ふ目的であります。

これは、どこの港でせう。
横濱の港に似てゐます。
鐵道唱歌に、「港を見れば百船の、烟は空をこがすまで」とありましたねー。海の中に、長く突き出て

ゐるのは何でせう。

機橋であります。

機橋は、何をする處でありますか。

汽船に乘つたり、汽船から降りたりする處であります。

よく御承知ですねー。只今、機橋に汽船が着いてゐますか。

二艘着いてゐます。

二艘に、幾つよせると五艘になりますか。

三艘よせると五艘になります。

左様、あなたは、あのやうな立派な船に乗つて行きたくありませんか。

乗つて見たくあります。

さう、船乗りは、廣い海に出たときは、どうして方角を知るでせう。

羅針盤で分るさうです。

航海してをる中に、急にお天氣が變つて、暴風が起れば、隨分困るでせうねー。

そのやうな場合には、早く近邊の港に船を入れたら、危くありますまい。

港のある處には、何とか目標がありますか。

大抵、燈臺がこしらへてあります。

この繪にも、燈臺がありますか。

赤く塗つたのと、白く塗つたのと、都合二つあります。

稱五港ノ名

港には、燈臺だの、棧橋だのをこしらへてあつて、朝晩、入船出船が、ピーコーと汽笛をならしてありますねー。日本の名高い港は、何處ですか。

横濱や神戸は、名高い港であります。

さう、長崎、函館、新潟などの港も有名であります。

切符

港で汽船に乗る前に、切符を買はねばなりませんでせうねー。

ハイ。

船に乗つた時は、この爺さんの賣つてあるやうな果物が欲しいさうですねー。

あの網船に積んであるのは、西瓜でせうか。さうねー。汽船に賣りに行く處でせう。船室でハ釜しく騒いでよろしいでせうか。

イー工、静かにしてゐないと、他のお客様に失禮であります。

網船 果物

船客

さうです。私が夏のお休みに、昔源氏と平家との戦があつた須磨の名所へ、遊びにまゐった時に、神戸から汽船で横濱へ歸りました。其の時に、或船客が船客とはお分りでせう。

船にお乗りになつてゐらつしやるお方でせう。女の船客が、大變船にお醉ひになつて、苦しんでゐますのを、丁度あなたぐらゐのお年の方が、お背中を擦つてあげてゐました。感心な子ですね。

船に酔ふたら、苦しいでせうか。

孝行

大變苦しいものであります。それで、お年のいかぬ中から、水を泳いだり、舟を漕ぐ稽古をなさるのは、まことによいことで、夏の日、お池で盥に乘つて漕ぎめぐり、板を浮べて遊ぶ中に、知らず知らず水に馴れてまゐります。

廣い海の上を、お船でアチラコチラ眺て通るのは、嘸ぞ面白いでせうねー。

海ノ唱歌

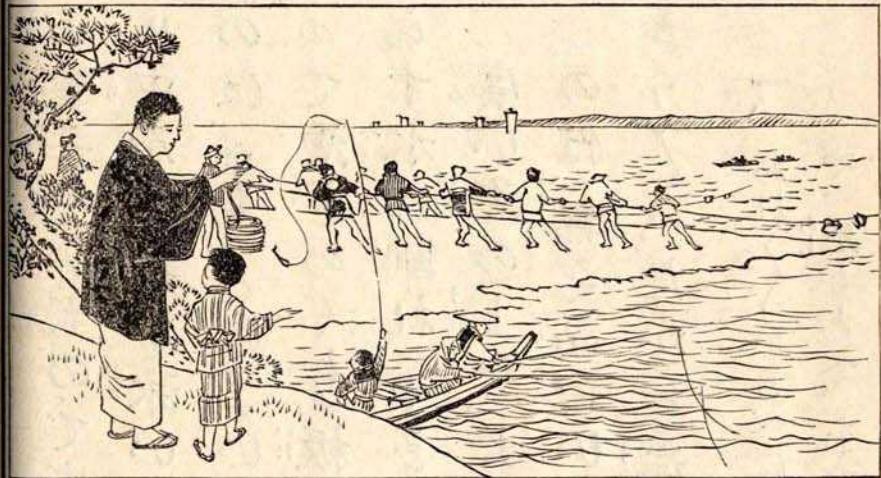
一、あれくをきべにしらほが見える。しらほを見てゐりや、足もとへ、をなみにめなみ、ぴちやくよせる。あれ

くしらほは、もう見えぬ。

二、あれく、なみまに、かもめが
うかぶ、かもめを見てありや、
みちかく、いそべの松か、オ
ルガン鳴らす。あれくかも
めは、もう見えぬ。

備考

海ニ關
オル兒童ノス
話



備考

○海に關せる兒童のお話。

私は、空が晴れて、風のないあたゝかな日に、お父様と、濱邊に遊びにまいりました。海の水は、青くひろくとして、沖の方は、はても見え

ません。こちらの岸では、人が舟で魚を釣つてゐます。あちらの濱邊では、漁師が網をひいてゐまして、其の時、お父様が、海は今、見るとほり、この上もない、廣い、水たまりで、其の中には、多くの魚がすみ、色々の草が生えてゐます。私やお前の食ふ鯛、鰯、昆布などは、みな海から取つたものであると申されました。

第三章

海草のお話

海草ノオ
話

要旨

要旨 昆布の形態に就いて、藻類の性質を教へる目的であります。

蝦の上に書いてある、帶のやうなのは何でせう。
海草であります。

蝦

昆布ノ形

其の中で、一番長いのは何ですか。
昆布であります。

昆布ノ性

あなたは、昆布を見たことがありますか。
暑中休暇に、海岸へ遊びにまわつたところが、
濱邊に黒青い色の昆布がありました。
さう、それは、海の中から、波で打ちあげられたものでせう。昆布は粘り氣があつて、食べると甘いですねー。

昆布ノ種類

この繪に書いてあるのは、隨分長いですねー。
昆布には、長昆布だの、厚昆布だの、色々な種類が

ありまして、長昆布は、幅が一尺あまりで、長さが六、七丈もあるさうです。だから、斯様な昆布の澤山ある處は、晝でも暗い位の大森になつてゐるさうです。御覽の通り、昆布は、根や莖や葉などの區別がないですが、どこから、滋養分を取るでせう。

葉のやうな、長い所で、養分を取ります。
よく御承知でしたねー。あのなめらかな昆布は、波や潮で流されないやうに、人間の拇指か、子供の腕位の丸さのあるもので、岩に、しつかと着い

てあるさうです。其の養分は、海水に溶けてゐるものを、葉に似たもので吸ひとるさうです、昆布は、暑い海と寒い海との、どちらに多く生えてゐますか。

昆布ノ産

昆布ヲ採

寒い海の方に多いやうに思ひます。

さうです。だから、北海道の近海には、帶のやうになつた大きなのが澤山あります。私が北海道の日高にまゐつた時に、昆布を探つてゐる人を見ましたが、面白いことをします。漁師が小舟に乗つていつて、何か鎌で刈りきると、直ぐに舟を漕

昆布ヲ採ル



ぎ出して、逃げて來るから、ハテ、妙な事をすると、見てゐる中に、昆布が澤山浮き上りました。さうすると、又舟をちかづけて、大きな昆布を積み入れました。はじめ刈つてから逃げ出したのは、若し

舟が逃げずゐますと、下から昆布が浮き出しつて、全く小舟を載せて、舟が動かないやうになつてしまふからださうです。これから、昆布に似た海草を考へつこしませう。

裙帶菜、馬尾藻、黒菜、羊栖菜、石花菜、淺草海苔。

これは裙帶菜で、こちらのは、馬尾藻で、何れも、海の岩に生えてゐます。昆布だの、裙帶菜だの、淺草海苔だのを、總べて何と申しますか。

藻類と申します。

藻類は、別に花が咲かないやうですが、どうして

繁殖えるでせう。

昆布などは、矢張り、菌のやうに、秋、あちらこちらに流れ出した芽胞が、岩石に着いて、芽を出すさうです。

あなたは、何でもよく覚えてゐらつしやるねー。そんなら、昆布や裙帶菜のやうな藻類は、菌のやうに、花のない植物ですか。

ハイ、無花植物であります。

料理に使ふ寒天やトコロテンは、何からこしらへたものですか。

存じませんから、教へて下さい。

あなたは、刺身のわきにつけてある、赤い細かな
海草を御承知でせう。

石花菜ですか。

石花菜ノ
効用

さうく。あの石花菜を、鹽氣のない水に洗つて
乾しますと、赤い色がぬけて、すきとほるやうに
なります。それを煮て溶かして冷やすとかたま
ります。それを適當の大きさに切つて、寒中に凍ら
せましたのが、乾物屋にある寒天で、又トコロテ
ンも、石花菜からこしらへたものであります。

何か、面白いお話を聞かせて下さい。

あなたは、浦島太郎のお話は、御存じでせう。

龜を海に逃がしてやつた人でせう。

人は、浦島太郎のやうな、慈悲深い心がなければ
なりません。龜であれ、鳥であれ、凡て生物をいぢ
めることは、しないやうになさい。

備考

浦島太郎
ノオ話

○浦島太郎の唱歌

歌曲は幼年唱
歌にあります

一、むかしく、うらしまは、子どものなぶるかめを見て、あ
はれと思ひ、買ひとりて、深きふちへぞ、はなちける。

二、あるひ、おほきな、かめがで、「まをしくうらしまさん、りうぐうといふ、よいところ、そこへあんない、いたしませう。」

三、浦島太郎は、かめにのり、なみのうへやら、うみのそ、たひ、しひ、ひらめ、かつを、さば、むらがるなかを、わけてゆく。

四、みればおどろく、からもんや、きんでのはしら、しや、このやね、しんじゆやるりで、かざりたて、よるもかゞやく、おくごてん。

五、おとひめさまの、おきにいり、浦島太郎は、三ねんを、りうぐうじやうで、くらすうち、わがやこひしく、なりにけり。

六、かへりてみれば、いへもし、これはふしげと、たまてばこ、ひらけば、しろき、けむがたち、しらがのぢ、となりにけり。

貝ノオ話

要旨

貝細工

具ノ花簪

ありますか。

私は、貝でこしらへた花簪をもつてゐます。
さう、あなたは、其の貝の花簪を、誰に買うて頂きましたか。

お叔母様から頂きました。

第四章 貝のお話

要旨

貝類

の體形及び構造を知らしめる目的であります。

何處かで、貝細工の品物を御覽になつたことが

あなたが毎日學校へ精出していらっしゃるから、其の御褒美に、お叔母さまが下さつたのでせう。だから、よく御勉強なさつて、追ひく裁縫のお稽古もなさるやうにしなければなりません。あなたは、この貝の名を御存じですか。

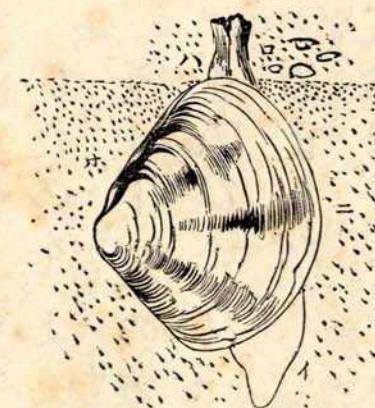
サドエであります。

サドエは、ホラガヒの小さいのに似てゐます。サドエだのホラガヒだのアワビだのを總稱して巻螺と申します。何れも、一枚の貝殻で包まれてゐませう。

ハイ、文蛤や蜑の貝殻は、二枚ありますねー。さうです。あのやうな堅い貝殻で、肉を包んでゐるによつて、外から敵が來ても、大丈夫であります。文蛤は、どうして歩くでせうねー。

私が、汐干狩にまみつた時に、文蛤の貝殻を開いたのを、よく見てあましたら、前と後とに肉を出し、後の方にある二つの管の、一方から水を吸ひ込み、一方から水を吐き出して、歩いてゐました。

文蛤は、あなたのおつしやる通り、出水管と入水管



はまぐり
イ、足
ロ、入水管
ハ、出水管
ニ、貝殻
ホ、鞆帶

管とがあります。又前の方に出て居る肉で、這つて行きます。文蛤を閉ぢたり、開けたり

するのは、どうした工合でせう。
分らないから教へて下さい。

貝の背に、蝶番のやうなものがありませう。あれは、鞆帶と申すもので、其の鞆帶と、體に着いてゐる肉柱との工合で、自由に、開閉が出来るやうに

なつて居ります。貝類は、物に恐れる時は、肉が殻の中になじみ込むでせう。

お節句の時などに、お雛様へ、小さな貝殻を上げると、綺麗ですねー。

又大きな貝殻をお皿やお茶碗のかはりに使つて、マ、ゴトをして遊ぶのも、面白いですねー。
海水浴にまいつたときに、澤山に拾てきませう。

あなたは、烏賊や章魚も、御承知ですか。
ハイ、烏賊の體には、お舟のやうなものや、トン

鳥賊ノ甲
ト嘴

ビや、カラスのやうなものがあります。さう。お舟に似たものは、烏賊の甲で、鳶や鳥のやうなものは嘴です。鳥賊や章魚などは、青蛙を餌にして、釣り出すと、水際まで追つ駆けてくるから、其の處を、手で捕へるさうです。

魚章は、グニヤくしたものですけれども、利巧ですねー。

何ぜ、利巧ですか。

敵が來た時には、頭の中にある黒いインキのやうな水を吹き出して、水をにごして逃げる

さうですから。

さう、章魚の腕は八本で、烏賊のは十本あります
が、何れも、腕のわきに、漏斗のようなものがあつて、それから水を吹き出して、後ろに進みます。烏賊、章魚、文蛤、サバ、エなどは、體が柔かですから、軟體動物と申すさうです。

軟體動物は、矢張り、卵から蕃殖るのでせうか。然様です。或る日、海の底へ鯛だの、ヒラメだの、烏賊だの、サバ、エだの、色々なものが集つて、お話を始めました。最初に、鯛が毎日々々泳いで遊ぶの

鳥賊
ト章

軟體動物

軟體動物法

鯛トノ話

サバエト

は、面白いけれども、時々恐ろしいものに遭遇する
のが心配だと、申しますと、ヒラメも、鰐も、烏賊
も、實にさうだと云つて、こはがつてゐました。
例のサ、エは、私のやうな貝殻があれば、世の中
に、恐ろしいものは、ありませんと、威張つてゐま
した。

丁度其處へ人が舟に乗つて来て、網をザンブツ
と打ち込むと、鯛、ヒラメ、鰐などは、一生懸命で逃
げてしまつたけれども、サ、エは、早く逃げませ
んでしたから、網にかかると、人の手にかかり、火

の上で炙られて、食べられました。人も、サ、エの
やうに威張つてばかりゐると、危ない目に遭遇
ふものであります。

備考

歌 汐干狩ノ

備考

歌 汐干狩ノ

○ 汐干狩の歌

歌 汐干狩ノ

一、扇花傘、日の御旗、

歌 汐干狩ノ

二、ちふく風になびかせて、

歌 汐干狩ノ

二、さして行く手は品川の、

歌 汐干狩ノ

三、籠を片手に下りたちて、

歌 汐干狩ノ

三、あさり、文蛤、しどみ貝、

歌 汐干狩ノ

小海老は砂にはねあがり、

歌 汐干狩ノ

おもひくの目じるしを、
浪も静けき遠干瀉、

拾ひし貝はなにくぞ。

比目魚を追は海士が子か、

小蟹は穴に遁げまどふ。

四、波に追はるる夕鶴、
暮るるもの知らずあちこちと、
樂みつきぬ沙干狩。

さしもに永き春の日の、

ノセル生徒
オル話ニ關

○淑徳に關せる生徒のお話、
派な士がありました。其の御夫人は、お名を千代子と申し、
やさしくて、じとやかな御性質で、よく夫に仕へたさうで
あります。軍の多い時分の事でしたから、或る日、夫が一匹
の名馬が欲しいと思つた時に、夫人は、山内家へ御嫁にま
ゐつた節に、お里のお父様から頂いたお錢十兩を、簪や着
物など買はずに、しまつて、あつたのを、鏡臺から取り出し
て、これにてお買ひ遊ばせとおっしゃつて、夫の前に置い
たさうです。だから、夫は、次第に出世して、遂に、土佐の國主
になつたと申すことでござります。

珊瑚ノオ

第五章

珊瑚のお話

要旨

珊瑚蟲の形態、生活の方法、効用等を知らしめる目的

であります。

昆布の下にある紅い枝の出でるのは、何でせ
う。

珊瑚

珊瑚であります。

そんなら、珊瑚も、海で出來るものですか。

海產物

ハイ、矢張り海產物であります。
珊瑚のやうに、海で出來るもので、色々な細工に
使ふものを、考へつこしませう。

眞珠でせう。

さう、眞珠や珊瑚のよいのは、大變光澤があつて、人に貴ばれます。珊瑚は、樹の幹でせうか。

イーエ、珊瑚蟲のつくつたものです。

そんなら、枝のやうに見えてゐますのは、珊瑚蟲といふ小さな動物のこしらへたものですか。ハイ、何時か、お兄様が、樹の枝のやうに廣がつたお床の置物を見て、あれは、珊瑚蟲の骨骼だと申してゐました。

さう、あの骨骼は、珊瑚蟲の分泌した物が、集つて

珊瑚蟲ノ
骨格

出來たもので、小さい穴のある柔かな外皮と、堅い中軸とからなつてゐます、普通に、人が、珊瑚と申してゐますのは、中軸ですが、其の中で、どのやうな、色のが貴いでせう。

赤や白のもありますけれど、桃色のやうに、淡紅いのが、上等であります。

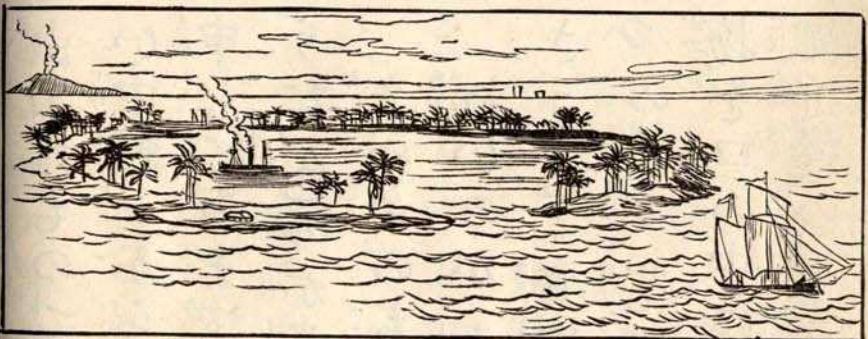
さうです。珊瑚蟲は、小さい蟲で、羽毛のやうな八つの手で、花の咲いた様な形をして、海水から、食作物を口の中に流し込みます。而して、土佐、薩摩、沖繩近邊のやうに温かな海に棲んでゐるさうで

す。あなたは、珊瑚の効用は御承知ですねー。

簪の玉だの、根掛けだの、印材だ
の、珠數、洋服の鈕釦などに用ゐ
ます。

あなたは、海花石、石蠶、石芝のや
うな、小さい海蟲の骨骼で出来た
珊瑚島の繪を見たことがあります。
環のやうに丸くなつて、島に似

海花石
石蠶
石芝
珊瑚島



たものが出来てゐるのでせう。
然様、珊瑚島には、随分大きなのがあつて、汽船が、
海上で急に大風に出遇つた時などは、其の中に、波
をさけるさうです。珊瑚の繁殖える仕方を御存
じですか。

最初は、卵から繁殖えます。又幹のやうなもの
が、波で折られて、漂流してゐる中に、他の岩に
着いて、芽を出すこともあります。
岩に着いてゐる、赤い大きな珊瑚を、網で引き上
げると面白いでせうねー。海綿蟲の群つてこし

らへた骨骼も、御承知ですか。

お医者さんとの療治の時に用ゐる海綿でせう。

さう、海綿は、インキや石板など拭ふにも用ゐま

す。海底に産する、海綿だの珊瑚だの眞珠だのを

採る仕方は、大變六ヶしいでせうねー。

潜水夫は、妙なものを着て、海の底で、自由に仕事をいたすさうです。

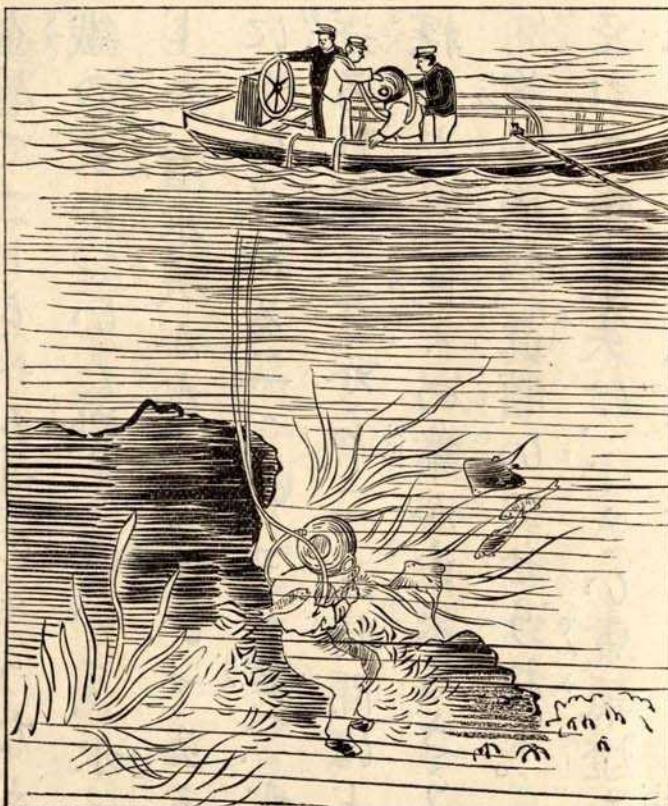
さう、何時か、私が汽船で神戸から長崎にまゐつた事がありました。長崎の港、長崎の港は、御存じでせう。

地理ニ關 セル事項

潛水夫

潛水器使用ノ圖

効潛水器ノ



九州の肥前にある港でせう。

さう、長崎の港口で、その船が

陸に近い處で轉覆しました。

は、皆助かりました。だが、荷物は、

小舟を出して、身体にゴム製の着物をつけ、頭に金属でこしらへた兜のやうなものを被り、足に鐵の裏がついた靴をはいて、水の中に這入りました。潛水夫が水中で働いてゐる間は、其の背後につけてある二つのゴム管へ、水上から、空氣を送る仕掛けですから、二、三時間ほど、海底で荷物を探したり、色々の業が出来るさうです。

海の底は、眞暗いでせうねー。

それで、潛水夫は、小さい電氣燈をもつて、水に這入るさうです、頭に着けてゐる兜のやうなものも、眼の處には、硝子を箝めて、物が見える仕掛けになつてをります。二百尺も深い海の底で、二三時間も仕事をすると、隨分疲れるさうです。あなたはお父様などの、肩がお疲れになつた時には、どうしてあげますか。

背後からお肩を叩いてあげます。

そのやうに、やさしくしてあげると、お父様などが、アーテ御苦勞であつたとおつしやつて、大變お喜びになります。

小舟を出して、身体にゴム製の着物をつけ、頭に金属でこしらへた兜のやうなものを被り、足に鐵の裏がついた靴をはいて、水の中に這入りました。潛水夫が水中で働いてゐる間は、其の背後につけてある二つのゴム管へ、水上から、空氣を送る仕掛けですから、二、三時間ほど、海底で荷物を探したり、色々の業が出来るさうです。

海の底は、眞暗いでせうねー。

それで、潛水夫は、小さい電氣燈をもつて、水に這入るさうです、頭に着けてゐる兜のやうなものも、眼の處には、硝子を箝めて、物が見える仕掛けになつてをります。二百尺も深い海の底で、二三時間も仕事をすると、隨分疲れるさうです。あなたはお父様などの、肩がお疲れになつた時には、どうしてあげますか。

背後からお肩を叩いてあげます。

そのやうに、やさしくしてあげると、お父様などが、アーテ御苦勞であつたとおつしやつて、大變お喜びになります。

○動植物に關せる生徒のお話、動物だの、植物だの申しますけれども、下等動物は、其の體の仕組などが、上等植物のによく似てゐます。動物でも池や溝に棲んでゐる、體が分裂して繁殖えたりするさうです。又植物でも、マウセンゴケの類は、匙に似た葉に毛があつて、小さい蠅などが來ると、毛で捕へて、其の汁を吸ひとるさうです。故に動物と植物とは、其先祖が同一だということです。

魚ノオ話

要旨

要旨 魚類の形態及び、其の生活の方法を知らしめる目的であります。

この繪に、釣舟が書いてありますか。

釣舟

赤い燈臺のこちらにある、小さいのでせう。さうです。あのやうに、人が魚など釣つてゐる處へ、石など擲げてはいけないですねー。あなたは、魚を釣りにいらつしやるのはお好きですか。ハイ、よく釣れる日は、ほんとに面白うござります。

川や溝には、どのやうな、魚が棲んでゐますか。

鰻などは、ミ、ズの餌で釣れますか、章魚だの、鰐

だの、凡て海の魚は、何で釣るが一番でせうか。

此度、さうでせう。
鯛の鱗が赤く見えてゐますねー。鯛の泳いでゐる所を、指して御覧なさい。
珊瑚の書いてある上の方で、泳いでゐます。
この平たい魚は、何でせう。
比目良であります。
比良目の體は、一方は白いけれども、他の一方は、黒い色をしておますねー。比良目や鯛のやうに、海の中に棲んでゐる魚を、考へつこしませう。

蝦で釣ります。
濱へまゐると、漁師の子供が、金槌で石をかいた
り、又手で砂を堀つたりして、ムカデのやうな蟲
を取つてあるでせう。あれは、ゴカイといふので、
海の魚を釣るには、一番よいのださうです。しか
し、釣らふと思ふ魚の種類によつて、餌も一様で
ありません。鰯など釣るのには、鰯がよいさうで
す。

あそこを、看賣りが、鰯を擔いで通つてゐます。
あの赤いのは、鯛でせうか。

水族館へまゐると、色々な魚が、玻璃戸の中に入れて飼つてありますねー。あのやうな魚はどうした仕掛けで、水の中を上つたり下つたりするでせうか。

鰾があるからでせう。

さう、私が、あなた位の時に、鮒をお池から釣つてまるつて、お兄さまに料理をしていた。其の時、お兄さまが、鮒のはらわたをかき出しましたが、其の中に、白いフクベのやうなものがありました。それをひしいで見たら、風船玉がこはれました。

るやうに、ブスツといきがぬけて、中に何もありませんでした。これが魚の鰾と云ふもので、浮く時はひろげ、沈む時は縮めるといふ、調法な道具ださうです。あなたは、魚の泳ぐ工合も御存じですか。

鰓ノ作用

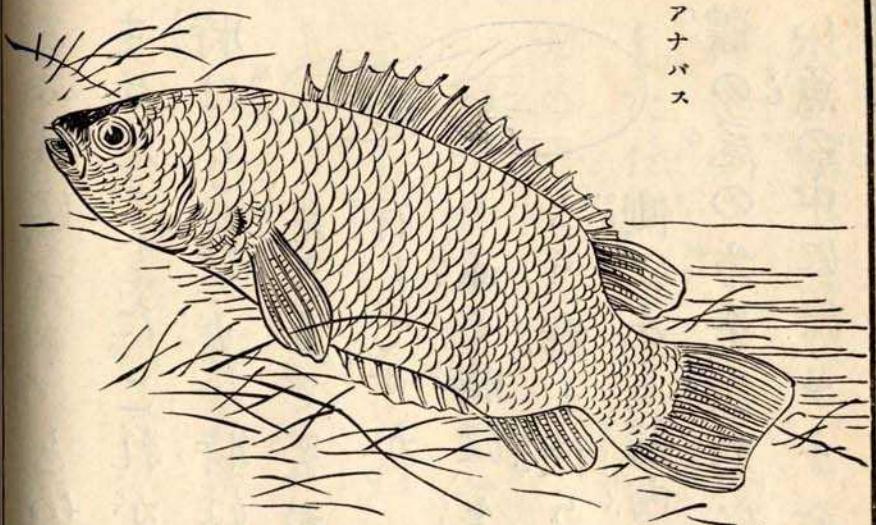


魚ノ鰓

アナバス
チャガシ

泳ぐ時は、主に鰓を使うでせう。

さう、鰓も使うのですけれども、主に、體の兩側にある筋肉を、伸べたり縮めたりして、い魚の中には、アナバスとか、チャガシラとか



申して、雨降りの後に、陸を歩くのもあります。斯様な魚は、印度や亞弗利加などの、池や河に棲んでゐるので、アナバスは、下腹にある強い棘のやうなもので、チヤガシラは、鰓で、草原へ歩いてまあるさうです。何れも、鰓の上のところに、室が

あつて、陸へ出掛けるときは、それに、水を溜めていくさうです。魚類も、其の棲み場處が、一様であります。されど、あなたは、鎌倉は、御承知でせう。鎌倉から、五、六十里ほど沖の海は、黒潮が、西南の方から、東北の方を指して、勢よく流れられてゐまして、其の暖かな流れの中にある魚と、千島や樺太の北の方から來てゐる、寒い流れの中にある魚とは、違つてゐます。鯛や鮭などは、寒い流れに多いですけれど

さうですねー。

あなたは、鎌倉は、御承知でせう。鎌倉から、五、六十里ほど沖の海は、黒潮が、西南の方から、東北の方を指して、勢よく流れられてゐまして、其の暖かな流れの中にある魚と、千島や樺太の北の方から來てゐる、寒い流れの中にある魚とは、違つてゐます。鯛や鮭などは、寒い流れに多いですけれど

も鯛だの鰈だのは、暖かな方を好みます。一體魚類は、どうして蕃殖えるでせう。

水草の中などに、卵を生みつけて、蕃殖えます。魚類に限らず、凡て生物は、其の蕃殖の時節に、捕らないやうにしないといけません。

ハイ、いつもものやうに、お話ををして下さい。

或る日、海の中を、鯛がブランく遊んでゐますと、小さな雜魚共が、大勢寄り合つて、一つの餌物を争つて居るので、鯛は、其雜魚どもを追ひ退けて、自分獨りで食べますと、この餌物の中には、針が

ありまして、鯛の咽喉にささりましたが、痛いと云ふ間もなく、上の方から、ツンく引かれて、そのまま、どこかへ連れて行かれたさうです。

○鮭と熊とに觸せる生徒のお話

北海道は、熊や

鮭の多い處で、熊は、鮭が大變好きであります。だから、をり、波打際へ出かけてまゐり、鮭を手捕りにして、竹の先へ幾つも刺して、之を擔ぎながら、自分の棲んでゐる穴へもつてゆくさうであります。ところが、熊は、竹の先を結んで、鮭を通すことを知りませんから、擔いで歸る中に、鮭が、のこらす途中へ落ちてしまひ、穴へ戻つて見ると、青竹ば

かりになるさうであります。だから、アイヌは、熊の後を跟けて、その鮑を拾ひとるさうであります。熊のやうに、いくら稼いで多くの鮑をとりましても、一方からよく始末をしないと駄目です。人も、唯だ働くばかりでなく、働いてとつたお錢を貯蓄してゐないと、底のない桶に、水を汲んでゐると同じことで、朝から晩まで、一生懸命に汲んでも、溜まらないです。

鞠つき歌

○鞠つき歌

一、ひとふたみつ、よついつ、むーななやー、

こゝのつ、とをよとこうたひてあそべ。

二、ふたつは、ふたゝび、かへらぬ月日、

おいてくゆるな、つとめよ、はげめ。

三、みつは、みえより、こころが大事、

まなぶ道をば、つとめよはげめ。

四、よつは、用心、ころばぬさきに、

油斷するなよ、つとめよ、はげめ。

五、いつつは、いかなる、難儀をしても、

君と親とに、つとめよ、はげめ。

六、もつは、無學の、めくらになるな、

ならぬさきに、つとめよ、はげめ。

七、ななつは、なにより、孝行が大事、

親のあるうち、つとめよ、はげめ。

八、やつは、柳の、しをれぬ、操に、

ならへ少女子、つとめよはげめ。

よく忘れずに覚えてゐましたねー。この馬車に着けてある大きい馬は、屹度亞刺比亞馬でせうねー。なぜ、斯様に、目をかくしてありますか。

側目をさせない爲めです。

あなたは、何時も、人に物を教へて頂く時などは、よくお氣をつけてゐますから、大變結構です。西洋人なども、仕事の間は、一生懸命で側眼もしないさうです。馬の頭の上に生えてゐる毛は、何と申しますか。

鬚と申します。

蹄と申すのは、何處ですか。

四肢の先きにある、爪のことになります。

馬の毛色には、白だの、栗毛だの、色々ありますが、あなたは、どのやうなのが欲しいですか。

大きい白馬が欲しうございます。

さう、騎兵などは、乗馬に熟練してゐるから、手綱をゆるめて、威勢よく駆けらせるでせう。練兵場で、騎兵がお稽古してゐる所は、よく揃つてゐますねー。

さうです。この馬と、この牛との形を比べて、お話

して御覽なさい。

牛の體は、馬のより肥えてゐます。牛には二本の角がありますけれども、馬には、そのやうなもののがありません。

牛も馬も、草を食べるのでせう。草など食べる獸類は、狐、熊、虎、獅子のやうな肉食獸に比べると、其の性質が素直ですねー。

ハイ、牛の子は、親につきまはつて、可愛らしうございます。

牛馬の子は、親の體から、其の形になつて生れ、乳

をのんで大きくなります。だから、牛も馬も、哺乳類に屬せる動物であります、牛や馬の脊骨は、隨分大きいですわねー。

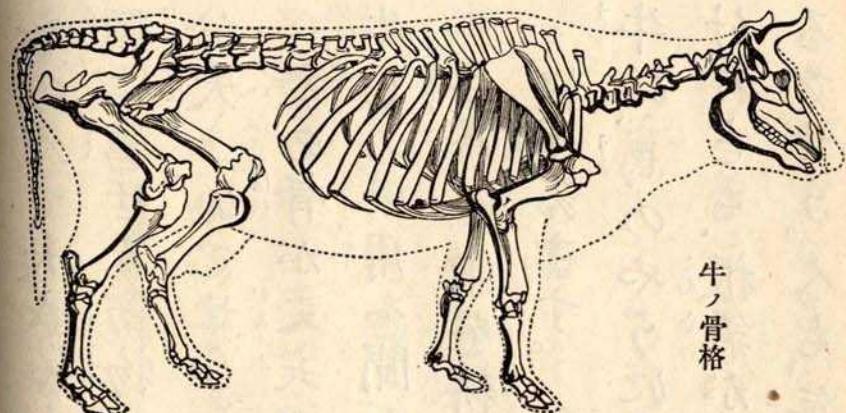
體の骨が丈夫ですから、力も強いですわ。

牛馬の効用を聞かせて下さい。

牛馬は、田を耕やし、荷を運び、又車をひくなどに用ゐます。

牛は、馬のやうに早く駆けることは、出來ませんけれども、根氣が強いから、遂には、遠方へもまるでせう。人も、毎日々々怠らずに勉強しさへす

牛ノ骨格



れば、後には、太した物知りになれます。私は、大變、犬が好きですから、一つ獵犬のお話をいたしませう。

獵犬は、山でも谷でも、雪を蹴立てて駆けまはるでせう。

さうです、私の友達の家にゐる獵犬は、鹿などの姿を見つけましたら、決してのがした

ことはありません。そのやうな名高い犬ですから、方々の人が評判してゐます。しかし、此の犬の子は、親の働いて取つて來た、兔や鹿の肉を食べるばかりで、自分に苦勞せずに、毎日々々、日あたりの好い處で、ゴロく寝轉んでゐます。人も、この小犬のやうに、お父様の骨折つてこしらへたお錢で、遊んでばかりみると、體格ばかり大きくなつても、人に玩弄にされます。だから、人間は何事でも、よく勉強するやうに、心掛けねばなりません。

○牛と馬との唱歌

歌曲は幼年唱
歌にあります

一、いたぐつゝのゝすがたによらず、こゝろはすなほ、きはおちつきて、つよきちから、しごとをたすけ、おもき車、かるげにひく、おそきあゆみも、たゆまぬ牛は、つひにはゆかん千里の道も。

二、いなゝくこゑは、あたりをはらひ、大地をけつて、かけだすときは、雲をおこす、ひづめのもと、風にのるか、ちゅーをとぶ、アレヨといふ間に、すがたも見えず、かけゆくうまは、いさましばやし。

○金太郎の遊戯法、この遊戯法は、人によりて、やり方

が違つてゐます。普通に行はれてゐますのは、先づ、一列圓形をつくらせ、各兒童に、金太郎の唱歌を歌はせつゝ、右に向き行進しつゝ、面白き身振りをさせるのであります。詳しくお話を致しますれば、第一節第一句で右手を肩に擔いで、状況をさせ、左手を軽く振りつゝ、圓形行進をさせ、第二句で、右手を下ろさせ、乗馬の姿をさせ、第三句、第四句で、乗馬の風で、肩を動かし、飛び廻らせます。それから、第二節第一句にうつり、最初の如くに、歩調を揃へて進行させ、第二句で、行進を止め、内生と外生とを向き合はさせ、右手を出して、けだもの呼ぶ眞似をさせ、終れば、向き合へるもの同志に帶を持ち合ひ、角力の眞似をさせ、最後の二句を歌はせつゝ、其の儘身體を左右に動かせます。これは、唱歌遊びですから、幼少な兒童には、よからうと存じます。

ます。

あなたは、海水浴にいらつしやつたことがありますか。

毎年、夏になると、海邊にまゐります。

海邊の空氣は、清潔ですから、お身體の藥になります。漁師が、網で魚をとつてゐた有様を、お話し下さい。

私が、濱邊へまゐった時に、數多の漁師が集つ

て、二筋の大網を、エイく聲を出して、引いてゐました。やがて、網を汀に引きよせましたが、其の時に、澤山な魚が、砂の上にはねをどり出して、大變愉快でありました。

さう、この海の中を泳いで、潮を吹きあげてゐる黒いのは、何でせう。

鯨であります。

然様、鯨の大きいのは、長けが、十間餘りで、大きさが五、六間もあるさうで、あの噴水のやうに、海水を吹き上げてゐるのは、肺で、呼吸する際に、其の

頭上にある鼻から、吐き出したものださうです。鯨の形は、魚によく似てゐますが、矢張り魚の大きいのでせうか。

鯨ノ形態

イ一エ、鯨は、海獸であります。そんなら、魚類のやうに、水草へ卵を生み落して、繁殖えるのではありますか。ハイ、牛や馬のやうに、子を生み、子は、其の母の腹にある乳で、育てあげられます。さう、鯨は、哺乳動物ですから、其の血液は、温かでせうねー。

哺乳動物

鯨ノ種類

ハイ、鯨の子は、丁度、小牛のやうに、其の親につき從て、泳ぎまはるさうです。

鯨に、鯨鬚のあるのと、ないのとの、二種がありますが、御存じですか。

セミ鯨
マツコ一鯨

鯨鬚のあるのは、セミ鯨で、鯨鬚のないのは、マツコ一鯨であります。

魚の尾は、縦に付いてゐますけれども、鯨の尾は、横に付いて、左右へ、二葉に分れて生えてゐます。而して、其の體は、鱗がないからに、厚い皮を着て、皮の下は、脂だらけです。あなたは、捕鯨の方法

捕鯨ノ圖



を御承知ですか。
鯨を捕るには、澤山
な舟を乗り出して、
冲の方から、陸の方
へ追ひ廻し、刃物を
投げて弱らせるさ
うであります。
大きな鯨を一匹捕る
と隨分お錢になるで
せうねー。

今でも、鯨を一匹とると、其の近邊の村々まで
も賑ふさうであります。

鯨のやうな海獸の名を、三つ云つて御覽なさい。

臍臍獸

海獺

海豹

臍臍獸

臍臍獸、海獺、海豹。

臍臍獸も、この繪に書いてあるでせう。
蒸氣機關の下に、書いてあります。

臍臍獸は、北海道から千島へかけて、其の近海に
多く棲んでゐて、夏の頃は、千島の海岸へ集つて
まゐるさうです。其の全身に、細かな毛が生えて
ゐて、四肢は、鰐の形に似てゐます。

北海道の沖へ行くと、脣肭獸が、幾つも群つて、岩礁に上がつてゐるさうですねー。

海水ノ温
其ノ度生

然様、鯨や脣肭獸などは、潮流につれて、冬は南方に、夏は北方にうつります。而して、鮭、鮒、海獺、脣肭獸などは、寒い海にゐますけれども、鰐、珊瑚、海龜などは、暖かな海に棲んでゐます。それで海水の温度が、違へば、其の棲んでゐる魚類や海獸の種類が變ることが、お分かりでせう。

ハイ、よく分りました。

北海道の沖へ、外國船がやつて来て、漁業に従事

軍艦ノ名

してゐるさうですが、日本人近海の水産事業を、外國人に占められるのは、殘念ですねー。追々海軍が盛になれば、海の上のことが、よく分かるばかりでなく、大變心強くなりります。あなたは、日本の軍艦の名を、大抵御存じですか。

十分に知りませんから、軍艦のお話ををして下さい。

我が軍艦の名を読み込んだ、數へ歌がありますから、一つ、歌つて見ませう。

一つとせ、東に仰ぐ、朝日艦、朝日艦、

二つとせ、扶桑に高き高千穂の、高千穂の、富士と筑波の間から。

三つとせ、三笠、笠置に、赤城艦、赤城艦、千代田の松さへ常磐にて。

楠守つた金剛も。

四つとせ、よきもあしきも三景は、三景は、

橋立、松島、嚴島。

五つとせ、出雲、和泉に高砂の、高砂の、

鶴も舞ひ立つ東雲を。

六つとせ、むかし忍べば秋津洲、秋津洲、

宮古はじめの大裏さま。

七つとせ、浪速の葦による波も、よる波も、

一度は越えた須磨、明石。

八つとせ、八島、八雲や、葛城の、葛城の、

神にちかひも龍田艦。

九つとせ、ここに大和に名も高き、名も高き、

吉野の櫻は咲いたとよ。

十とせ、ともに煙も大島と、大島と、

向ひあはせの淺間山。

○動物の分類、動物を大別して、有脊動物と無脊動物との二種にいたします。今、其の大要を表で示しますれば次に示すやうな次第であります。

甲 有脊動物

		種類		皮膚	足	血液	液	胎生	繁殖	呼吸
		毛	髮	四足	溫	血	液			
五	魚類	甲	鱗	四足或 は缺く	冷	血	液	胎生	繁殖	呼吸
		兩棲類	裸出	四足	冷	血	液	胎生	繁殖	呼吸
		爬蟲類	甲	鱗	四足或 は缺く	冷	血	液	胎生	肺
		鳥類	羽毛	翼と足	溫	血	液	胎生	繁殖	呼吸
		哺乳類	皮膚	足	血液	液	胎生	繁殖	呼吸	肺

乙 無脊動物

九	軟體類	六	節足類	七	蠕蟲類	八	九
大名行列の遊戯	大名行列の遊戯	軟體類	節足類	蠕蟲類	蠕蟲類	蠕蟲類	下等の動物
ます。どうして、させるかと申せば、先づ一組を八人なら八人と定め、各組より四人づつえらび、其の一人を大將に、他の三人を馬にさせ、大將は、圖に示せるやうに馬に乗り、之	ます。どうして、させるかと申せば、先づ一組を八人なら八人と定め、各組より四人づつえらび、其の一人を大將に、他の三人を馬にさせ、大將は、圖に示せるやうに馬に乗り、之	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	ウニ、ヒトデ、珊瑚蟲、海綿等であります。
ます。どうして、させるかと申せば、先づ一組を八人なら八人と定め、各組より四人づつえらび、其の一人を大將に、他の三人を馬にさせ、大將は、圖に示せるやうに馬に乗り、之	ます。どうして、させるかと申せば、先づ一組を八人なら八人と定め、各組より四人づつえらび、其の一人を大將に、他の三人を馬にさせ、大將は、圖に示せるやうに馬に乗り、之	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	多 く は、堅 き 皮 を 被 り、數 對 の 足 を 有 つ て、其 の 足 に 節 が あ り ま す。	ウニ、ヒトデ、珊瑚蟲、海綿等であります。

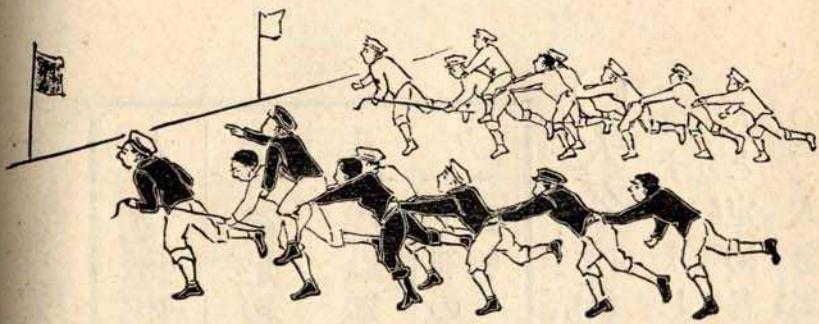
ガス
骸炭
コールタ

この瓦斯燈の瓦斯は、何から取つたものでせう。石炭を蒸し焼にして、こしらへたものであります。

さう、石炭を蒸し焼きにして、ガスを取つた後に残るガスは、骸炭といふので、焰が出てなくて、眞赤に燃えるから、金屬など溶かすに、用ゐます。ブリキで造つた屋根や、お家のトヒなど塗るに使ふのは何ですか。

コールタルであります。

める目的であります。



圖ノ大名行列競走

馬丁にひかせ、背後に残りの臣下を連れて駆け出させ、先方の旗を取りて、早く決勝點に着いた方を、勝ちとするのです。出させるのですから、中途で轉がります。圖のやうに、一連鎖になつて駆け出されば、又列のきれることもあります。もあれば、又列の切れた時などは、一旦止りて、直ぐに繋ぎ合せ、再び駆け出させるのです。五組も六組もこしらへさせて、同時に競争させると、隨分面白みがあります。

第九章 石炭のお話

要旨 石炭の性質及び効用を知らし

アニリン

さう、コールタールは、石炭を蒸し焼きにすると
きに出来るもので、物の腐敗を防ぐに用ゐます。
アニリンと申す塗料も、コールタールから製出
せられるさうです。流行病などのある時に、消毒
剤に用ゐる石炭酸は、何から取つたものでせう。
コールタールを蒸溜して、こしらへたもので
あります。

さうです。石炭の効用をお話して御覽なさい。

石炭は、汽車や汽船などに用ゐるばかりでなく、燃える瓦斯をつくるに使ひます。さうして、

コールタールから石炭酸、塗料などが取れます。

汽船などで、釜の湯を沸すにも、石炭を用ゐますねー。石炭は、どのやうな色をしてゐますか。

黒い色をしてゐます。

石炭は、何から出来たものでせう。

植物の化つたものであります。

黒い光澤のある堅い石炭が、木などの化つたものだと云ふことが、どうして分りますか。
私は、葉の形のついた標本を持つてゐます。

石炭ノ種類

さう、御承知の通り、石炭は、大昔し、地球上に大運動があつて、海の底が持ち上つて、高い山になつたり、高い山が、海の底に沈んでしまつたりした時に、地中に埋つた森林が、土の重さで、ひどく壓し付けられ、空氣に觸れずに居て、其の上、地球の心にある熱を受けた結果、變化されて石炭になつたものです。石炭の中には、善く燃えるのと、善く燃えないのとがあるでせう。

ハイ、一番上等の石炭は、無煙炭と申します。

然様、無煙炭は、土の中に永く埋つてゐたもので

すから、其の質も佳良ですが、泥炭のやうに、土の中に埋つてゐた間の短かいのは、下等です。一體、石炭に、幾色ありますか。

無煙炭、黒炭、褐炭、泥炭の四種でせう。

さうねー。日本の中でも、一番多く石炭の出る處は、どこでせう。

石炭ノ産地

福岡が一番で、北海道が其の次であります。我が國で、一年の石炭產出額は、六百萬噸ほどで、其の量が多いから、過半は、外國へ賣り出します。あなたは、石炭を掘つてゐる處を見たこ

とがありますか。

まだ、見たことはありません。

石炭採掘

石炭は、地の中に脈になつて挿つてゐますから、穴を深く掘つて、坑夫が其の中で採つたのを、運び出す様になつてゐます。

炭坑の中は、眞暗いでせうね。

だから、炭坑の中は、晝でも、燈火を付けてゐます。而して、坑の中には、燃え易いガスがあるから、ハリガネの網で火を包んだ、デビーの安全燈を用ゐた方が安心だと申すことです。坑の中の空氣

安全燈
デビー

注衛生上ノ

は、清潔でせうか。

イー工、非常に不潔であります。

人間の體には、周りの空氣がよごれてゐるほど、毒なのはありません。冬など、障子を閉めて、ストーヴをよく用ゐてみると、其の室に炭酸瓦斯が溜つて、頭痛がしだします。そのやうな時は、どういたせばよろしいでせうか。

障子を開けて、風を通さねばなりません。

健康は幸福の母と申す諺もある次第ですから、一處に養生の唱歌(歌曲は幼年遊戯)を歌ひませう。

一、およそ、からだの養生は、まづ第一がのみくひよ、三度の食はほどをきめ、はら八分に、たべておけ。

二、つぎは運動、運動は、ものゝなれや、ちのめぐり、元氣
もよくし、すぢ、ほねを、たくましくさへ、するものぞ。
三、其の外、家のふきさうぢ、湯に入ることも、せんたくも、き
たない空氣を、すはぬため、からだに、あかをつけぬため。
四、玉にもまさるこのからだ、養生の道おこたらず、進み行
く世に、ながらへて、ながく御國の、ためとなれ。

備考

石炭ニ關

備

の着いたのがあります。我が九州や北海道からも澤山に
石炭を産出いたします。其の効用は蒸氣機關の湯を沸か
すたきものに使ふばかりでなく、瓦斯、ユール、タル、染料
石炭酸等をこしらへるにも用ゐます。

デザーボ

「デザーボール」の遊戯法、この遊戯を行ふには、
竿一本、ゴム毬一個、紐一線、毬を打つ「ラケット」、毬を包む毛糸
の網とがあれば、それで道具が揃ふのであります。其の仕
方は、圖で大概御推量が出来ませうが、先づ柱を中心として、一直線を引き、二人が向ひ合つて、其の位置を定め、用意
が出来たならば、甲なら甲が例のラケットで、最初は、毬を己
の手許へ引き寄せて、隨意の方向に毬を打ち放つので
あります。詳しく言ひますれば、甲は毬のついてをる紐を

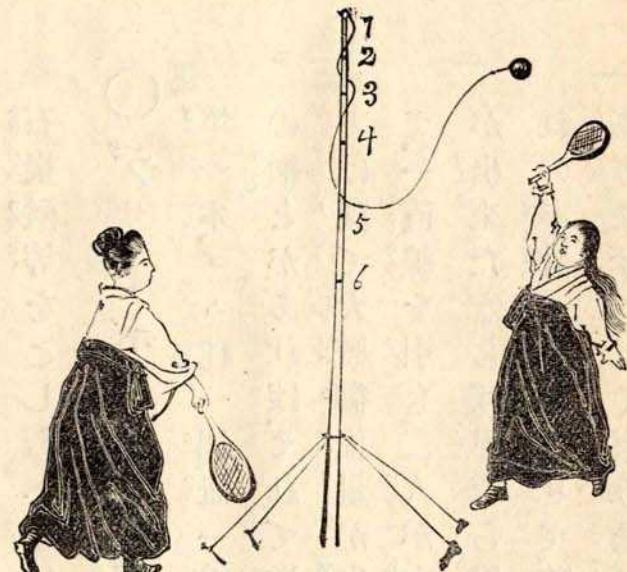
あります。
日本は、海で囲まれてゐる國ですね！
ハイ、四方に海があります。
そんなら、汽船に乗らなければ、外國へ行けない
ですか。
ハイ、だから、海を恐れるやうでは駄目です。
あなたは、あのやうに、ボートに乗つて遊ぶのは、
好きですか。
大變、好きであります。何時かも、お兄様と、隅田
川で、ボートに乘りました。

ボートのお話

第十章 ボートのお話

要旨

ボートに託して、海國人士の心得を知らしめる目的



ボートボール遊びの圖

右に柱へ巻きつけやうとす
れば、乙は左に巻き付くやう
にいたすのであります。而し
て、五尺とか、六尺とか、自分の
巻きつけやうと思ふ方には、
やく紐を巻き付けた方が勝
ちます。僅か二人で出来る遊
戯ですから、家庭でさせるに
も、都合のよい遊戯であります。

鹽舟

あなたぐらゐの時分から、ボートに乗りなれた方は、大きくなつて、汽船で遠方へいらつしやる時も、波でゆられるのが恐ろしくありませんから、結構です。あなたは、小さい時に、川や池で、鹽舟に乗つたことがありますか。

鹽舟に乗つて漕ぎ廻はることが出来ますか。田舎へまゐると、七つ八つぐらゐの小さな方が、川や池で、鹽舟で面白く遊んでゐます。ボートや帆前船などのない頃は、どんな船でしたらう。大昔しは、刳木でこしらへた、粗末な船を用ゐ

て居たさうです。

然様。帆や舵や櫂など使ふやうになつたのは、世が開けてからのことです。我れ我れの祖先が、今から三百年程前に、遠い海上へ乗り出した船は、帆前船でしたらうか。

ハイ、大きな三本檣の船でした。

よく御存じですねー。伊達政宗の頃に、西洋へ乗つていつた船は、長さ十八間、幅五間半の大きい帆前船であつたさうです。今では、遠洋航海などいたすにも、蒸氣船があるから、便利になりまし

櫂 舶

刳木船

た。あなたは、ボート、レースを見たことがありますか。

隅田川で、幾度も見ました。

さう、私は、琵琶湖で見ました。御承知の如く、漕ぎ手は、各々白、黒、赤などの揃た帽子や、シャツを着けてみました。三艘のボートが、へさきを揃へて進み来る所は、愉快でした。あなたが見た時のお話ををして下さい。

隅田川のボート、レースは、毎年花の頃にあります。私の見た時も、この繪にかいてあるやう

に、ボートのトモに乗つてゐる人は、前向いて舵をとり、其の他の人は、後向きになつて、一生懸命で漕いでゐました。

競漕の時などは、漕ぎ手も疲れるでせうが、舵をとる人は、隨分心配でせうねー。

しかし、勝つた時は、非常に嬉しいでせう。

何時か、英吉利で、方々の學校から、選手を出して、大競漕會があつたさうです。其の時、或る學校の選手は、出發後、見る間もなく、他のボートを漕ぎ抜け、真先になつたさうです。嬉しかつたでせう

正直

ねー。

其のボートが、勝ちましたでせう。

イー工、最初、真先になつた方の舵手は、中途で、號令をかけて、漕ぐことを止めさせたさうです。

なぜでせう。

それは、他のボートが、十分に用意が出来てゐなかつたと考へ、これで勝つのは、正しくないと思つたからださうです。英吉利西などの學生は、遊戯をしても、氣高い精神をもつてゐますねー。凡て、人は、何をするにも、正直にいたさねばなりません。

せん。よく分りましたか。

ハイ、感心な學生ですねー。

どうぞ、學校の運動會の時なども、正直にして勝負を決するるやうになさい。私も、大變ボート好きで、月の夜などに、廣々とした水の上を乗り廻す時も、ボートの波で、上がつたり下がつたりいたすのが、却つて面白くあります。ボートに乗つて人の多く住んでゐない島など探しに行つたら、愉快でせうねー。

危ないでせう。

歌
ボート
スノ
唱

港に着いた時や、航海中に危ない目に遭遇つ

た時などに用ゐます。

さう、海軍の兵士は、戦の時に、ボートを下ろして、敵の砲臺に切り込むことがあるさうです。これから一處にボート、レースの唱歌歌曲は幼年遊戯法にありますを歌ひませう。

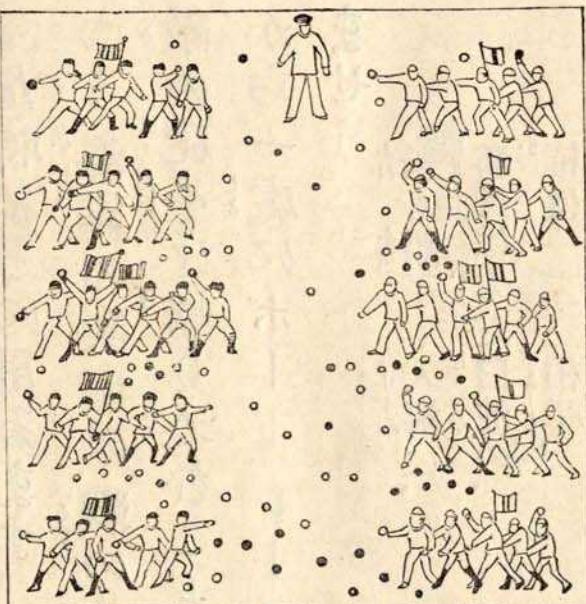
船も船子も入海に、
勝負は未だ白波の、
權は一二三柏子、
ボートの旗の色めくと、
號砲一發こぎ出す、
上にあらそふ後やさき、
いよく早むる浪の音、
共に起るは鬨の聲。

元氣

そんな弱い考へではいけません。英吉利西も、丁度日本のやうに、四方に海がある國ですから、お祖父さんなどが、其の孫をボートに乗せて、廣い海を漕ぎ廻るさうです。それで、英吉利西の人は、大きくなつて、軍艦で戦をしたり。商船で商に行くにも、少しも恐れません。ボートで千島へ出掛けた、郡司大尉のやうに、元氣な人が澤山出来ないと、日本の國が盛んになります。汽船などに釣り下げるあるボートは、どんな時に用ゐるのでせう。

○軍艦遊びの遊戯法

これは海事思想を養ふに適した遊戯であります。この遊戯



これは海事思想を養ふに適した遊戯であります。この遊戯をいたさせるには、先づ圖の如く、敵味方に分れ、五六人で、一軍艦をつくり、中央に居る一人が艦長で、襟に一本の旗をさし、司令長官の乗り組めるのは、二本の旗を立て、最初の程は赤白二艦隊に、軍歌を勇ましく歌はせ、示威運動をさせます。やがて、笛なら笛をさせますが、此の遊戯を行はさ

せるには、最初、軍艦の中央なる艦長のゐる所を主要部と定め、艦員の右手を、大砲と定め、其の大砲で、用意の毬を、敵艦に投げ、其の主要部に中つた時と、一連鎖になれる艦員の手を放ちたる時とを、沈没と約束して置きます、だから早く沈没した方が負けとなります。この遊戯法で、相方の艦隊に、一人で單獨に運動の出来る水雷艇とでも云ふものをつけ加へ、其の身體中、何れに毬が中つても、沈没するものと定め、開戦させることもあります。何れにしても、勝負の定まる迄は、落ちた毬は、之を拾ひ上げて使用させます。

寶同文文館館

賣關捌西所大發兌

東京神田區表神保町
大坂東區備後町四

東京京橋區弓町二十四番地

三協合資會社

森山章之亟

發刷行者兼

川田鐵彌

編纂者

海上之部前編
定價金廿五錢

明治三十七年四月廿四日印刷
明治三十七年四月廿七日發行

和英會話教本

川田鐵彌編纂

近刊

不許復製

後藤教授博士垣田和士學文學彌鐵田川士先生編纂

圖教示科理

全軸二折價定金三圓
送料實費(上海及上陸)小包料拾錢

本圖は川田文學士が實驗研究の餘歐米最近の教授法を酌み新に編纂せられたる者なり。陸上の部はステーションを中心として植物、動物、礦物、各種の器產物文明の利器を自然の順序に従ひ教育的に羅列せり。今左に本圖の特色を擧ぐれば

- 一、小學校及家庭に於て理科學上の智職を直覺的に授くるにあり
- 二、小學校及家庭の教育上口語、會話の練習をなさしむるにあり
- 三、一般家庭に用ひて前同様の利益を收むるを得べし

